

浜松市生涯学習推進大綱(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和7年11月から12月にかけて実施しました浜松市生涯学習推進大綱(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等3人・6団体から45件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市生涯学習推進大綱」を策定し、令和8年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市生涯学習推進大綱に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和8年2月

浜松市市民部創造都市・文化振興課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2413

FAX 050-3730-2887

Eメールアドレス

shogaigk@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和7年11月19日から令和7年12月19日			
【意見提出者数】	3人・6団体			
【意見数内訳】	45件 (提案21件、要望9件、質問14件、その他1件)			
【提出方法】	持参(12) 郵便(0) 電子メール(10) FAX(0) 説明会等(23)			
【案に対する反映度】	案の修正	15件	今後の参考	8件
	盛り込み済	2件	その他	20件

目次

表紙(意見数 2件)

改定に当たって(意見数 5件)

第1章 生涯学習とは

1. 生涯学習の理念(意見数 1件)
2. 生涯学習の分野(意見数 0件)
3. 生涯学習の目的や効果(意見数 1件)

第2章 改定の背景(意見数 0件)

1. 社会的な動向(意見数 0件)
2. 市民アンケート調査からの現状と課題(意見数 0件)

第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

1. 目指す姿(意見数 3件)
2. 基本的な方向性(意見数 0件)
3. 基本的な方向性の取り組み(意見数 20件)
4. 皆さんの学びを支える施設(意見数 1件)
5. 生涯学習推進大綱の位置づけ(意見数 3件)

付属資料(意見数 0件)

その他(意見数 9件)

1 表紙（2件）

提案 1	子どものイラストを入れる。生涯学習は生涯にわたっているため、子どもの存在もある方がよい。
---------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、子どものイラストを追加しました。

提案 2	表紙の1枚に3か所「浜松」が見られ、くどい感じ。目指す姿にある「浜松」は無いほうがすっきりすると思います。
---------	---

【市の考え方】その他

本大綱案の策定に向けた社会教育委員会での議論の中で、目指す姿に「浜松」を入れるべきとの意見が出されたことから、「浜松」までを含めて目指す姿としています。表紙には目指す姿を記載していますので、このままの表記とさせていただきます。

2 改定に当たって（5件）

提案 1	見出しの「当たって」を「あたって」にする。ひらがなの方が柔らかな印象になる。
---------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、ひらがな表記に修正しました。

提案 2	最終行に改定年月を入れる。裏表紙にはあるが、最初にもあるとよい。
---------	----------------------------------

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、改定年月を追加しました。

提案 3	脚注単語の右上の数字を(括弧)書きにする。たとえば Society5.0 の上付けの1がわかりにくい。
提案 4	脚注の数字のフォント及びポイントの統一。P5の4～6も同様。
提案 5	脚注の番号の大きさの統一。P1の1、2だけ大きくなっています。どちらかに統一されるとよいと思います。

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、脚注の数字について括弧書きに修正するとともに、ポイントを統一しました。

3 第1章 生涯学習とは

1 生涯学習の理念（1件）

提案 1	P2の「多面的思考力や創造性などの幅広いスキルの開発」というところは、もう少し解り易い表現にしていただければと思います。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

（修正前）

「知識の獲得だけでなく、多面的思考力や創造性などの幅広いスキルの開発に取り組むことにより、教育を生涯にわたる継続的なプロセスとして捉えています。」

（修正後）

「知識の獲得だけでなく、さまざまな角度から考える力や創造力などの幅広い能力の獲得に取り組むことにより、教育を生涯にわたる継続的なプロセスとして捉えています。」

3 生涯学習の目的や効果（1件）

提案 1	P3の（2）「社会的弱者の社会参加」を「視覚、聴覚などさまざまなハンディキャップを持つ人の社会参加」にすればより具体的なイメージが湧くのではないのでしょうか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

（修正前）

「特にデジタルスキルの習得は情報格差の解消にもつながり、高齢者や社会的弱者の社会参加を促進します。」

（修正後）

「特にデジタルスキルの習得は情報格差の解消にもつながり、高齢者や身体的、精神的な状況により支援を必要とする方々の社会参加を促進します。」

4 第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

1 目指す姿（3件）

要望 1	目指す姿が「学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松」とあります。一人ひとりの幸福度が向上することは重要ですが、この先、世代、性別、生活環境、国籍を問わず、多様な価値観、人とは違う価値観で形作られた幸福感を持った人々が同じ地域の構成員であることを踏まえると、異なる幸福感を持った人々が共に生きていくことも目指す姿に加えていただきたいです。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

今回の改定の背景として、価値観の多様化や、多様な背景を持つ人々が互いを尊重し、それぞれの能力を発揮して社会に参加できる共生社会の構築の重要度の高まりがあります。その人の状態により区別せず、全ての人に生涯学習に取り組んでいただきたいとの思いから、目指す姿には「市民一人ひとり」、またサブタイトルには「人や地域とのつながりの中で」という表現を使用し、人と人とのつながりでそれぞれの幸福度が向上することをイメージしています。そのため、目指す姿には異なる幸福感を持った人々が共に生きていくことも含まれるものと考えています。

質問 1	市が目指す生涯学習の定義について、協働センターを軸としての活動を中心に考えているようで範囲が狭いように思われるが、この点について市の考えをお聞きしたい。
---------	--

【市の考え方】その他

今回の生涯学習推進大綱では、「人や地域とのつながりの中で、豊かさと安心感を得られるまち」を目指す姿でうたっており、協働センター・ふれあいセンター等はつながりをつくる地域の身近な学習拠点として重要な施設と捉えています。

生涯学習を行う場には様々な施設や手段があると考えており、本大綱でもその他の施設を紹介するとともに、生涯学習の目的や効果を示すことで、市民の皆さんが生涯学習に取り組む意識の醸成を図りたいと考えています。

質問 2	キャッチフレーズの中に幸福度とありますが、この幸福度というものの測定する尺度というのはどのようなものなのか、教えてほしい。
---------	---

【市の考え方】その他

幸福度を測る尺度については、生活における満足感など、個人が感じる主観的・客観的な幸福感を数値化する方法などがあり、国等でも様々な考察がされています。

生涯学習に取り組むことは、自己肯定感の向上や社会とのつながりの構築による安心感の醸成など、個人の幸福感を高める効果が期待できることから、目指す姿の実現に向け、施策を進めてまいります。

3 基本的な方向性の取り組み（20件）

提案 1	「3 推進項目と主な取り組み」に変更してはどうか。P15資料1浜松市生涯学習推進体系図の一番上の小さい四角の表現と合わせた方がよい。
---------	--

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

（修正前）

「3. 基本的な方向性の取り組み」

（修正後）

「3. 推進項目と主な取り組み」

質問 1	生涯学習の理念を含め、情報をどのように市民に提供するつもりか。
質問 2	生涯学習の情報を得る方法について教えていただきたい。

【市の考え方】その他

浜松市ホームページに本大綱を掲載するとともに、各施設で閲覧できるように配付してまいります。ホームページ内では、講座・教室のイベント情報や講座情報が掲載された協働センターだよりなどを掲載しており、講座によってはインターネットからの申し込みも可能となっています。また、各地域の協働センター・ふれあいセンター等で開催される講座等の情報については、協働センター・ふれあいセンター等でチラシを配布するとともに、地域の回覧板でも周知しています。

提案 2	今の社会情勢により、生涯学習に取り組んでいるのは高齢者か子供で、働き盛りの世代は取り組む余裕がない。それらに対応出来るものであるべきと考える。
質問 3	基本的な方向性で、いつでもとあるのですが、例えば、オンデマンドで学べるような環境づくりがされるのですか。

【市の考え方】その他

生涯学習には様々な場所や手段があります。近年のデジタル技術の進展により、オンライン学習など時間や場所にとらわれない多様な学習方法が実現しています。また、国でも社会人の学びの機会の拡充に向け、情報提供や各種支援制度を実施しています。

要望 1	学習機会の充実に市内の大学や放送大学などと連携し、とありますが、放送大学は浜松市として誘致してきた大学ですので、もう少し案内を積極的にしていただいても良いのでは。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

浜松市ホームページに放送大学の募集案内を掲載するとともに、関係部署でのパンフレットの配布等により、周知に努めてまいります。

質問 4	学習機会の充実、市内の大学や放送大学などと連携し、とありますが、この連携はどのような形ですか。市民が大学に行って勉強する、そのような機会があるということですか。
質問 5	「市内の大学等と連携して学び直しの機会を拡充」とあるが、具体的にどんなことをしているか。一般市民が大学へ行き、講義を受講できるというわけではないということか。

【市の考え方】その他

市内の大学との連携により、大学の教員による市民アカデミーや大学生による講座を開催しています。また、市民が大学に行って勉強する機会としては、各大学が実施している公開講座や、県西部地域の7大学及び浜松市、磐田市、袋井市の3市

間の交流促進や教育環境の充実を目指して実施している大学共同授業などがあります。

提 案 3	P10の③学習環境の向上のところ、協働センターなどの学習拠点については…を文頭にし、専門性が高く…をそれに続けたほうが自然ではないでしょうか。生涯学習の拠点施設は協働センターと思います。
----------------------	---

【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

(修正前)

「専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。また、協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。」

(修正後)

「協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。また、専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。」

質 問 6	P10 専門性の高い施設の役割の充実となっています。「施設の充実」や「施設機能の深化拡充」などではなく、「役割の充実」ということは具体的にはどのような状態を想定しているのでしょうか。
----------------------	---

【市の考え方】その他

図書館には地域の知の拠点として情報を収集、提供する役割、博物館・美術館には市民の皆さんが歴史や芸術に触れる機会を提供する役割、浜松科学館には科学への興味・関心を高め、科学的な探求心を育む役割などがあります。レファレンス機能の充実や学校との連携などにより、これらの役割をさらに充実させていくことを想定しています。

要 望 2	<p>具体的な学びの施設に専門性の高い施設が挙げられていますが、現状これらの施設の専門性のある司書、学芸員、ミュージアムエドゥケーター（浜松市博物館美術館では、教育普及係のかたでしょうか）からのプログラムは乏しいので、3の基本的な方向性の取り組みに、他の施設で提供されるプログラムも含めて、取り組み項目を追加していただきたいと思えます。</p> <p>浜松市域が広範囲であるので、市民への学びの機会と質の担保のために、学習プログラムを循環させる仕組みも必要です。各館で実施しているアウトリーチを市域に展開しフィードバックし質を向上させる循環が、これから迎える社会の大きな変化に対応できるのではと考えます。</p>
----------------------	--

【市の考え方】今後の参考

各施設で提供されるプログラムについては、基本的な方向性の取り組みの学習情報の提供の中で、様々な媒体により情報発信に努めてまいります。

寄せられたご意見を参考に、今後もICTの活用によるオンラインでの講座の開催や動画の配信、アンケートの結果を次の事業展開に反映させる取り組みなどを通じて、質の向上やアウトリーチの充実に努めてまいります。

質問 7	③学習環境の向上に老朽化施設については・・・と記載があるが、現在把握している施設はあるのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

最近の事例では、西図書館の移転リニューアル、浜松科学館の展示リニューアル、新津協働センター、浜北文化センター、アクトシティ浜松の大規模改修等を実施しています。

今後は、光明ふれあいセンター、南陽協働センター、南陽図書館、和地協働センター等の大規模改修を予定しています。

質問 8	「学習環境の向上」について、老朽化施設は耐震性の向上やユニバーサルデザイン化を推進するとある。三ヶ日支所はかなり老朽化しており、学習環境の向上という観点で、どのような方向で進めていけば改善できるかを示して欲しい。
-----------------	--

【市の考え方】その他

建築物の長寿命化を図り、長期的な財政負担の軽減・平準化と、市民への最適な公共サービスの提供及び安全で快適な公共建築物の創出を目的とした「公共施設等長寿命化計画」にのっとり、三ヶ日支所についてもあり方を検討していく予定です。

質問 9	生涯学習の推進に当たっては協働センターにもメニューがあるが、地域の中で活動していく上で、地域を引っ張っている人材が、どこの地域でも高齢化によって次にやれる人を探すのが難しい状況になっている。この大綱の中には、生涯学習を推進する上で、組織づくりなどは含まれているのか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

生涯学習推進大綱は、役割や方向性などの概念を示すものですので、具体的な内容については掲載しておりませんが、組織づくりは学びの継続だけでなく、活力ある持続可能な地域づくりにおいても重要な要素となりますので、関係部署と連携して取り組んでまいります。

質問 10	①学習情報の提供に「協働センターなどの担当者が適切な情報提供やアドバイスを行えるよう、対応力の向上を図ります」、③学習環境の向上に「地域内の各団体の連携化を図ります」とあるが、協働センター職員の負担増につながらないのか。
------------------	--

【市の考え方】その他

協働センターの職員には、地域の相談に対し解決策をアドバイスすること、地域の人材情報や他の地域団体の活動事例などを地域へ提供すること、生涯学習講座や

協働センター自主事業の企画及び運営、各地域団体の行事運営に関する指導・助言、各種団体間の連携促進などへの対応が求められています。これらの職務の参考になる研修を実施し、職員の対応力の向上を図るものです。なお、これまでも年1回以上の研修を実施しています。

質問 11	①参加・活動の場の拡大の○人材発掘、人材登録体制の整備に、知識や技能を持つ人と、それを求める人を結びつける人材登録制度を整備しますとあるが、具体的にはどのようなものなのか。
提案 4	学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動ということで、学びを適切に生かすことができるよう、地域の学習拠点等で市民が講師や指導者として活躍する場を設けますとあるが、こういうことを子供たちに教えることができる、サポートできるという人を登録しておいて、学校でそのような人材が必要な時に依頼できるような方法があれば、地域との連携や、地域で学校を支えていく助けになるのではないか。

【市の考え方】 その他

具体的な事例として、以下の取り組みを実施しています。

①生涯学習講師登録

これまで身に付けてきた経験や専門的な知識や技術・技能等のノウハウを生かすことを希望する方に、主に協働センター・ふれあいセンター等における講座・教室・講演会等の講師として活躍する場や機会を提供することを目的とした制度です。

スポーツや芸術、歴史、語学、料理など、様々な分野で多数の人材が登録されています。

②はままつ人づくりネットワークセンター

地域の魅力的な人材や企業、団体を登録し、学校の教育活動などに提供するもので、浜松市立小中学校の教員、土曜学習、放課後の子供の居場所づくり（放課後児童会や放課後子供教室等）の運営主体などが、授業、講座等を実施する際に利用することができます。

各学年の授業内容に応じた講座や、施設・工場見学、体験活動などのメニューがあります。

提案 5	地域づくりの意識高揚とあります。意識高揚というのは、精神的に活動性が高まって、一時的にモチベーションや熱意が向上する状態を指すと、あくまでもこれは一時的な感じですが、普通に向上とか、そのような一般的な言葉でいいのではと思います。
-----------------	--

【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

(修正前)

「地域づくりの意識高揚」

(修正後)

「地域づくりの意識の醸成」

提案 6	<p>イラスト部分【黄色のところ】の文の「あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。」を「生涯学習はあなたのためにあります。」的な表現に してはどうか。</p> <p>新聞を読む、ラジオの講座を聴く、ボランティア参加も生涯学習です。どの人も知らないうちに生涯学習に携わっています。取り組むというと勇気が必要だったり、苦手だからとか思っている人にはハードルが高いのでは。</p>
提案 7	<p>イラスト部分【黄色のところ】の文の「たくさんの施設」を「たくさんの機会や施設」にしてはどうか。</p> <p>教育基本法第3条に「あらゆる機会に、あらゆる場所において」とあり、また、施設だけでなくオンラインでも行われる講演会や講座などは機会と表現できると思うから。</p>

【市の考え方】案の修正

市民の皆さんに生涯学習に取り組んでいただきたいとの思いから、積極的な呼びかけの表現としています。ご提案の「生涯学習はあなたのためにあります。」は、穏やかに生涯学習の意義を伝えるために適切な表現と思われるので、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正し、両方を併記してまいります。

また、「機会」を追加してまいります。

《修正内容》

(修正前)

「あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。

浜松市には、皆さんの学びを支えるたくさんの施設があります。」

(修正後)

「生涯学習はあなたのためにあります。

あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。

浜松市には、皆さんの学びを支えるたくさんの機会や施設があります。」

4 皆さんの学びを支える施設 (意見数 1件)

要望 1	<p>地域の学習ニーズに応じて生涯学習を総合的に支援する施設とあります。これらの施設では、地域の学習ニーズだけではなく、大綱で繰り返し記載がある大きな社会の変化をリサーチし、地域の学習ニーズに先駆けた生涯学習を推進する役割も加えて下さい。</p>
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

協働センター、支所やふれあいセンターなどの地域の学習・交流拠点で開催する事業については、ウェルビーイング意識の向上や共生社会の構築、デジタル化の進展など、社会の変化に対応したメニューも取り入れるよう検討しています。

5 生涯学習推進大綱の位置づけ (意見数 3件)

提案 1	<p>5. 生涯学習推進大綱の位置づけの1落目に現行大綱P18の図の上半分だけでも載せる。</p> <p>推進大綱の位置づけの段落がよりわかりやすくなると思うから。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 その他

現行大綱では戦略計画による大綱の管理イメージ図を掲載していましたが、大綱案全体の記載内容を見直す中で、表記の簡素化を図るため、今回の大綱では図を省略したものです。

提案 2	<p>【推進体制】の文中「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会、地域団体、その他の団体が相互に連携」を「創造都市……浜松市社会教育委員会は地域団体、その他の団体と相互に……」としてはどうか。</p> <p>中央部分の図からもわかるように、地域団体、その他の団体に対応するのは行政であり、創造都市～浜松市社会教育委員会までを行政のひとくくりとしているから。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

(修正前)

「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会、地域団体、その他の団体が相互に連携、協働して「学びとつながりの環」をつくり、生涯学習を推進していきます。」

(修正後)

「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会は、地域団体、その他の団体と相互に連携、協働して「学びとつながりの環」をつくり、生涯学習を推進していきます。」

提案 3	<p>学びとつながりの環の図を別添イメージ図のような感じで。</p> <p>それぞれのタイトル(学びとつながりの輪、生涯学習の場)の意味が強調されるのではないか。協働、連携を表す一番下の黄色の円が目立たないことと緑の⇄がわかりにくいから。</p> <p>この図が変わらない場合、「地域団体、その他の団体、行政」の赤と矢印の緑をもう少し柔らかな色を使用する方が良い。大綱全体に使われている色が淡い系であるが、この赤と緑の色が濃いように感じるので、色彩的にも統一感があると良い。</p>
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見により、学びとつながりの環の図を修正しました。

5 その他（9件）

要望 1	<p>施行後、広報はままつ特集ページで紹介してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習とは(講座等に参加するだけが生涯学習ではなく、音楽、スポーツ他、個で行われている読書、習い事やボランティアなども生涯学習の一つであることを表現した4コマ漫画で紹介するとか) ・大綱の概要 ・「浜松市生涯学習に関する意識活動実態調査報告書」中の特記事項 ・学習施設の紹介など <p>○実態調査報告書から気づいたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習そのものが自分とかけ離れていると思っている人が多い ・一人では参加しにくい ・広報はままつの講座に参加したくても定員超えでできない ・実態調査の結果を知りたい等 <p>○生涯学習はいつでもどこでも誰にでもできることを、もっと知ってもらえるとよいから。</p> <p>○これまで私が思っていたより、皆さん、広報はままつを見ていることを知ったから。</p>
要望 2	<p>広報はままつの後半には、いろいろ生涯学習に係る案内が紹介されていますが、もっとページの構成を工夫いただき、市民が取り組みやすい、誰でも参加できるというよう、繋がっていく紹介を作っていただければと願います。</p>

【市の考え方】今後の参考

生涯学習には、人生を豊かにする様々な効果が期待できることから、今後も様々な機会を通じて生涯学習に取り組む意義の啓発を進めるとともに、開催講座などの生涯学習情報の提供に努めてまいります。

質問 1	<p>市内の生涯学習団体と学校における部活動の地域展開を結びつけることは想定しているか。</p>
提案 1	<p>部活動の指導者が足りない問題に対して、生涯学習での活動を把握してもらえれば、講師の派遣ができ、指導者不足も解消できるのではないかと思う。</p>

【市の考え方】その他

中学校部活動の地域展開については学校・地域連携課、協働センターなどで活動する地域活動団体については市民協働・地域政策課の所管となりますので、それぞれの所管課と情報共有をする中で、様々なケースを想定して検討してまいります。

要望 3	生涯学習をさらに広めるために、市民がやりがいや目的をもって生涯学習ができる仕組みを検討してほしい。
要望 4	市民一人ひとりが自発的に学び活動できる生涯学習は、豊かな暮らしの実現のために是非、継続的に行っていただきたい。
提案 2	生涯学習の講座受講者の意見を聞いてもらえる仕組みがあるとよい。地域の活性化、あるいは人間の成長を促すような取り組み方ができれば、利用が増えると思う。

【市の考え方】 今後の参考

生涯学習の意義を広く啓発するとともに、アンケートの実施等により受講者のニーズの把握に努めます。また、学習成果を活用する場の提供や交流の促進に取り組み、やりがいや地域の活性化につなげていきます。

寄せられたご意見を参考に、今後も様々な機会を通じて、市民一人ひとりが自発的に生涯学習に取り組む意欲の醸成を図るとともに、個人の成長が地域の活性化につながるような環境づくりを推進してまいります。

要望 5	協働センターの利用申請について、不便を感じている。どこの協働センターにおいても申請することができ、予約開始日も統一してほしい。
---------	---

【市の考え方】 その他

協働センターの利用申請については、基本的に1か月前からとなっていますが、地域のコミュニティ活動を通じた地域づくりに貢献している団体または社会教育法に規定する社会教育関係団体については優遇措置を設けており、2か月前からの予約が可能となっています。(中部協働センターのみいずれも6か月前から)

なお、スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」を利用することにより、全ての協働センターの予約をすることが可能です。

その他	生涯を通して学ぶことで、知識や技術を習得したり、人とのつながりができたり、何らかの形で社会に関わっていくことは、誠に得難いことであり、今のように、変化の激しい時には特に大切なことと思います。その意味で、生涯学習について改めて行政の基本的な考え方を示されることは、誠に時宜を得たものと大いに評価させていただきます。
-----	--

【市の考え方】 その他

生涯学習は、知識や技術の習得にとどまらず、個人の豊かな人生の実現と、地域の活性化に重要な役割を果たすものです。

寄せられたご意見を参考に、今後も生涯学習の推進に取り組んでまいります。